

2010年11月号
No.493

りゅうぎん調査

2010年11月号

Bank of the Ryukyus'
Okinawan Economic Review

No.493



琉球銀行



りゅうぎん総合研究所

県内の景気動向

概況（2010年9月）

景気は、下げ止まりの動きがみられる

観光関連では、入域観光客数が前年を上回る

消費関連では、電気製品卸売販売が前年を上回る

9月の県内景気をみると、消費関連では、百貨店売上高は主力の衣料品の減少などにより引き続き前年を下回った。スーパー売上高は、既存店では単価の下落などから前年を下回り、全店でも前年を下回った。新車販売、電気製品卸売は、ともに政策効果により引き続き前年を上回った。建設関連では、公共工事請負金額は、前年の前倒し発注等の政策効果の反動から前年を下回った。県内主要建設会社の受注額は、民間工事の増加により引き続き前年を上回った。建設資材出荷・売上では、鋼材は前年を上回ったものの、セメント、生コン、木材は前年を下回った。入域観光客数は、国内客、外国客ともに増加したことから引き続き前年を上回った。主要ホテルは、稼働率が那覇市内、リゾートともに上昇したことから引き続き前年を上回り、売上高も引き続き前年を上回った。主要観光施設の入場者数は、前年を下回った。

総じてみると、建設関連が弱含んでいるものの、消費関連が一部で持ち直し、観光関連が持ち直していることから、県内景気は下げ止まりの動きがみられる。

消費関連

百貨店売上高は、集客効果のある催事の開催時期が前年と異なったことから食料品が増加したものの、主力である衣料品の減少が続いていることなどから、26カ月連続で前年を下回った。スーパー売上高（既存店）は、単価の下落傾向が続いていることや旧盆の時期がずれたことによる旧盆需要の剥落などから食料品が減少し2カ月ぶりに前年を下回った。全店ベースでも2カ月ぶりに前年を下回った。新車販売は、エコカー減税・補助金制度の効果などにより14カ月連続で前年を上回った。電気製品卸売販売は、エコポイント効果などにより15カ月連続で前年を上回った。

建設関連

公共工事請負額は、前年の前倒し発注等の政府の景気対策効果の反動などから3カ月連続で前年を下回った。県内主要建設会社の受注額は、民間工事が貸家や福祉施設などの受注により増加したことから2カ月連続で前年を上回った。建設資材関連では、セメントは3カ月連続で前年を下回り、生コンも12カ月連続で前年を下回った。鋼材は、大口需要があったことなどから20カ月ぶりに前年を上回った。木材は、前年の大型物件向け出荷の反動から3カ月連続で前年を下回った。

観光関連

入域観光客数は、国内客、外国客とも引き続き増加したことから、8カ月連続で前年を上回った。県内主要ホテルは、稼働率は、那覇市内、リゾートがともに上昇したことから、3カ月連続で前年を上回った。売上高は、那覇市内、リゾートがともに増加したことから、2カ月連続で前年を上回った。主要観光施設入場者数は2カ月ぶりに前年を下回った。主要ゴルフ場は、入場者数、売上高ともに前年を下回った。

雇用関連

新規求人数（8月）は、前年同月比0.3%減となり7カ月ぶりに減少した。有効求人倍率（季調値、8月）は、0.31倍と前月と同数となった。完全失業率（季調値、8月）は、7.7%と前月より1.4ポイント悪化した。

その他

消費者物価指数（8月）は、教育、交通・通信、教養娯楽などが下落したことから、前年同月比0.7%下落し16カ月連続で前年を下回った。企業倒産は、件数が8件と前年同月より2件上回り、負債総額は50億4,200万円となり前年同月比562.5%の増加となった。

りゅうぎん調査(2010年9月)

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2010.7 - 2010.9)
1.消費関連		
(1)百貨店(金額)	1.3	4.1
(2)スーパー(既存店)(金額)	4.7	1.5
(3)スーパー(全店)(金額)	3.5	0.2
(4)新車販売(台数)	4.1	18.5
(5)電気製品卸売(金額)	13.4	18.2
2.建設関連		
(1)公共工事請負金額(金額)	10.7	16.5
(2)建築着工床面積(m ²)	(8月) 30.3	(6-8月) 10.2
(3)新設住宅着工戸数(戸)	(8月) 10.8	(6-8月) 0.6
(4)建設受注額(金額)	10.1	7.6
(5)セメント(トン数)	2.3	9.1
(6)生コン(m ³)	5.8	14.7
(7)鋼材(金額)	24.8	4.3
(8)木材(金額)	7.0	11.3
3.観光関連		
(1)入域観光客数(人数)	6.9	5.1
(2)県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) 11.4 (実数) 82.6	(前年同期差) 6.9 (実数) 82.7
(3) " 売上高(金額)	5.3	2.8
(4)観光施設入場者数(人数)	1.2	1.3
(5)ゴルフ場入場者数(人数)	10.9	7.4
(6) " 売上高(金額)	8.7	7.0
4.その他		
(1)県内新規求人数(人数)	(8月) 0.3	(6-8月) 10.6
(2)有効求人倍率(季調値)	(実数、8月) 0.31	(実数、6-8月) 0.31
(3)消費者物価指数(総合)	(8月) 0.7	(6-8月) 0.8
(4)企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 2	(前年同期差) 0.7
(5)広告収入(県内マスコミ)(金額)	(8月) 3.5	(6-8月) 4.0
(6)電力使用量(百万Kwh)	(8月) 3.1	(6-8月) 0.3

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。

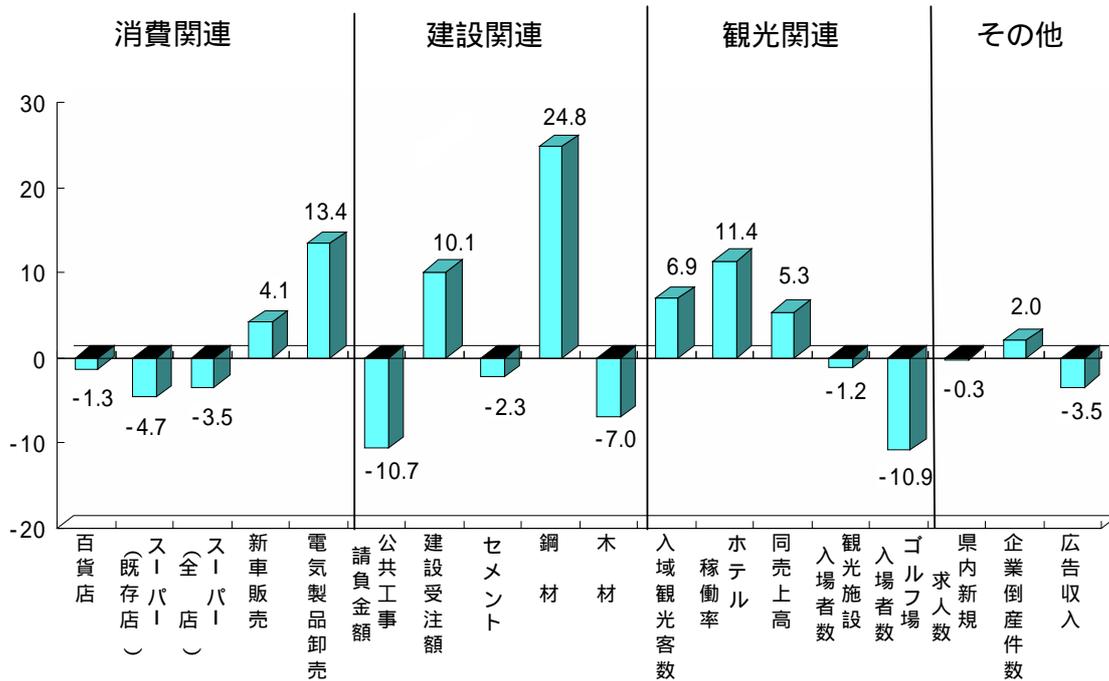
(注2) 電気製品卸売は、2010年4月より調査先を7社から4社とした。

(注3) 主要ホテルは、2010年9月より調査先を18ホテルから19ホテルとした。

(注4) 観光施設入場者数は、2009年1月より調査先を5施設から6施設とした。

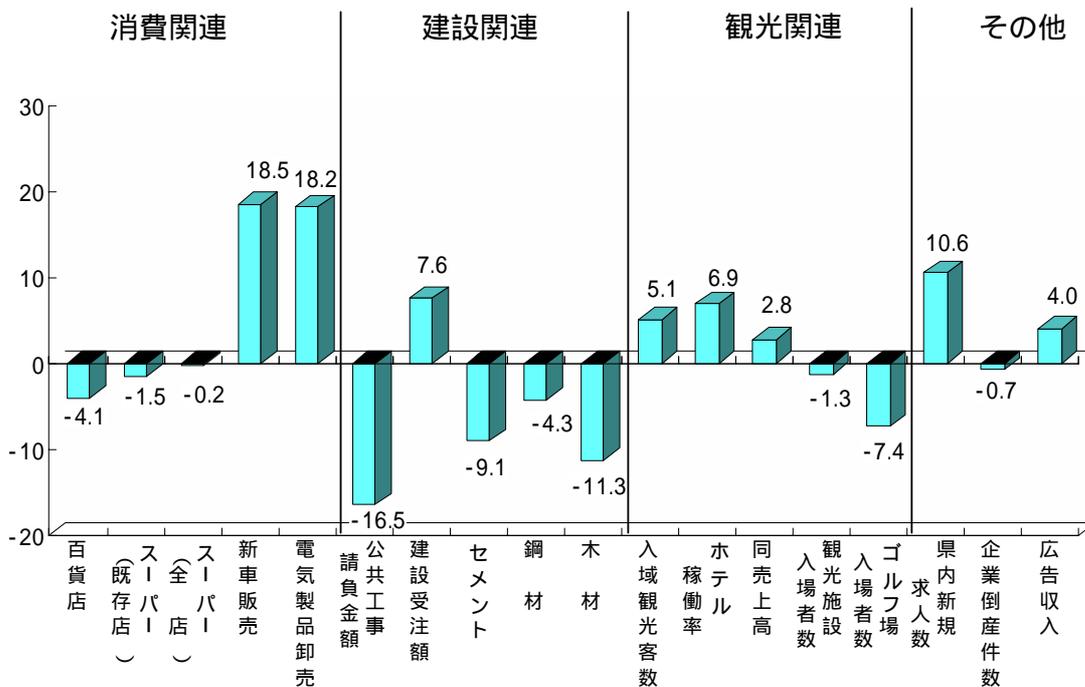
(注5) 企業倒産件数の前年同期差は、月平均件数の前年同期差。

項目別グラフ(単月、2010年9月)



(注) 県内新規求人、広告収入は10年8月分。数値は前年比(%)。
ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。

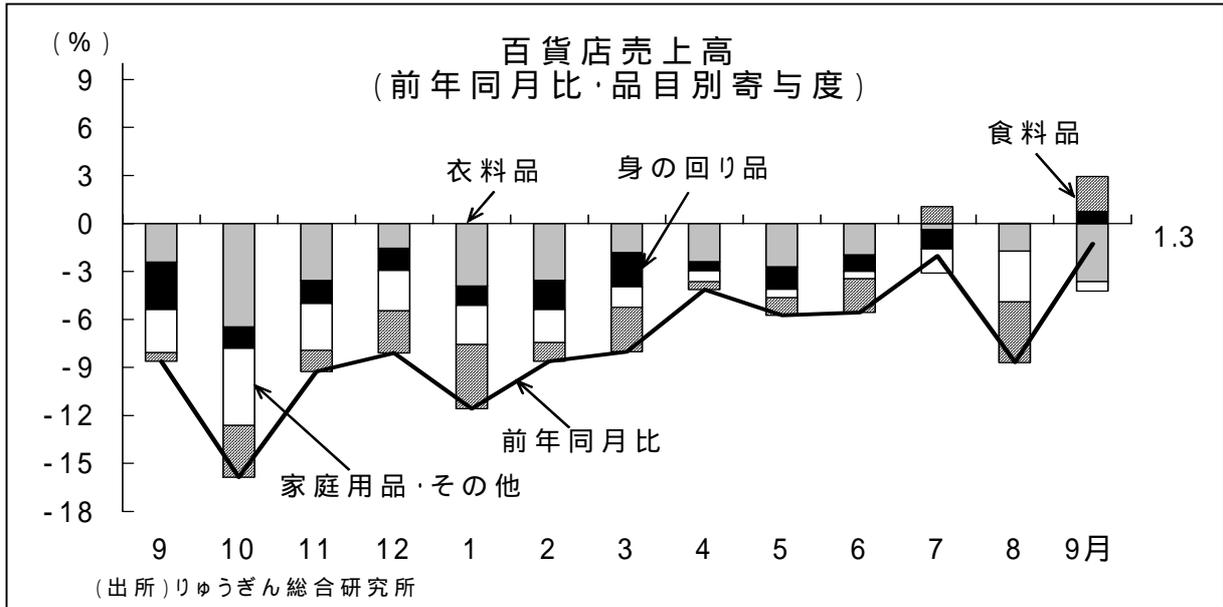
項目別グラフ(3カ月、2010年7~9月)



(注) 県内新規求人、広告収入は10年6~8月分。数値は前年比(%)。
ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は月平均の前年差。

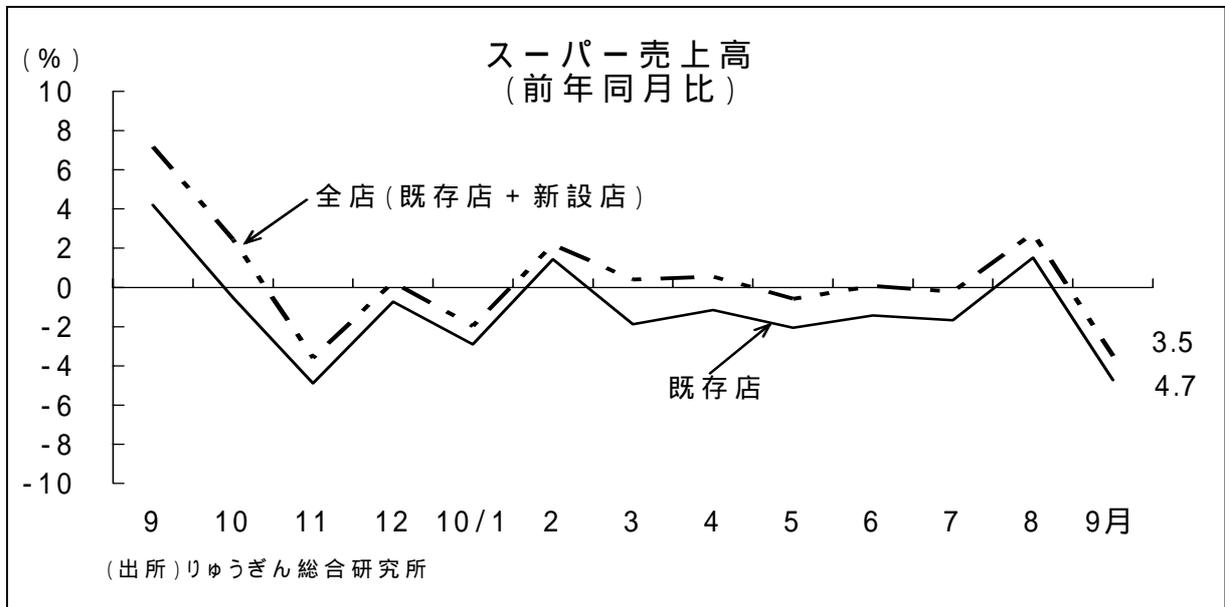
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：26 カ月連続で減少



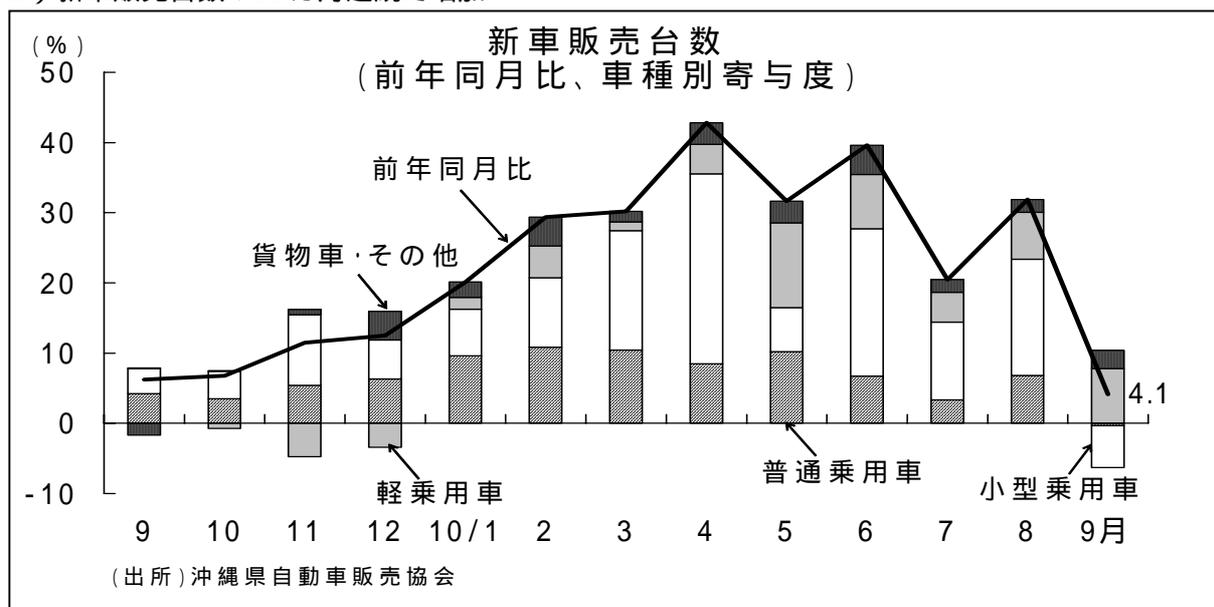
- 百貨店売上高は、集客効果のある催事の開催時期が前年と異なったこと（前年は10月開催、今年は9月開催）から食料品が増加したものの、主力である衣料品の減少が続いていることなどから前年同月比1.3%減と26カ月連続で前年を下回った。
- 品目別にみると、食料品（同6.9%増）、身の回り品（同8.9%増）が増加し、衣料品（同9.6%減）、家庭用品・その他（同2.7%減）が減少した。

(2) スーパー売上高：全店ベースは2 カ月ぶりに減少



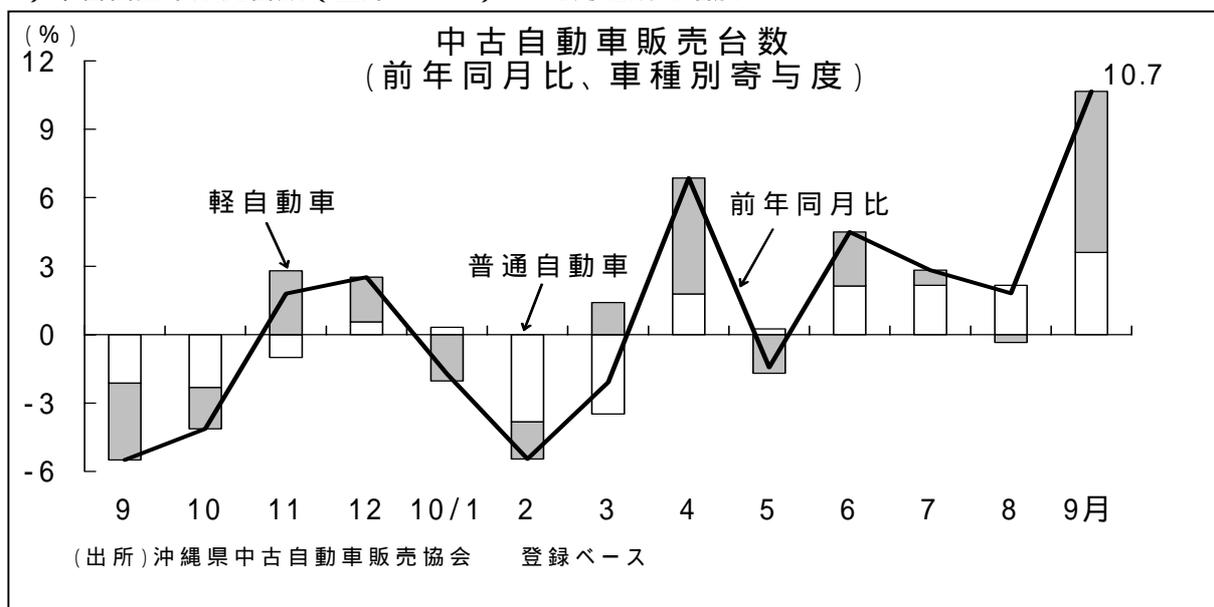
- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比4.7%減と2カ月ぶりに前年同月を下回った。
- 食料品は単価の下落傾向が続いていることや旧盆の時期が前にずれたこと（前年は9月上旬、今年は8月下旬）に伴い旧盆需要が剥落したことなどから同7.1%減となり、衣料品は同3.2%減と減少した。
- 全店ベースでも同様の理由などから3.5%減と2カ月ぶりに下回った。

(3) 新車販売台数：14カ月連続で増加



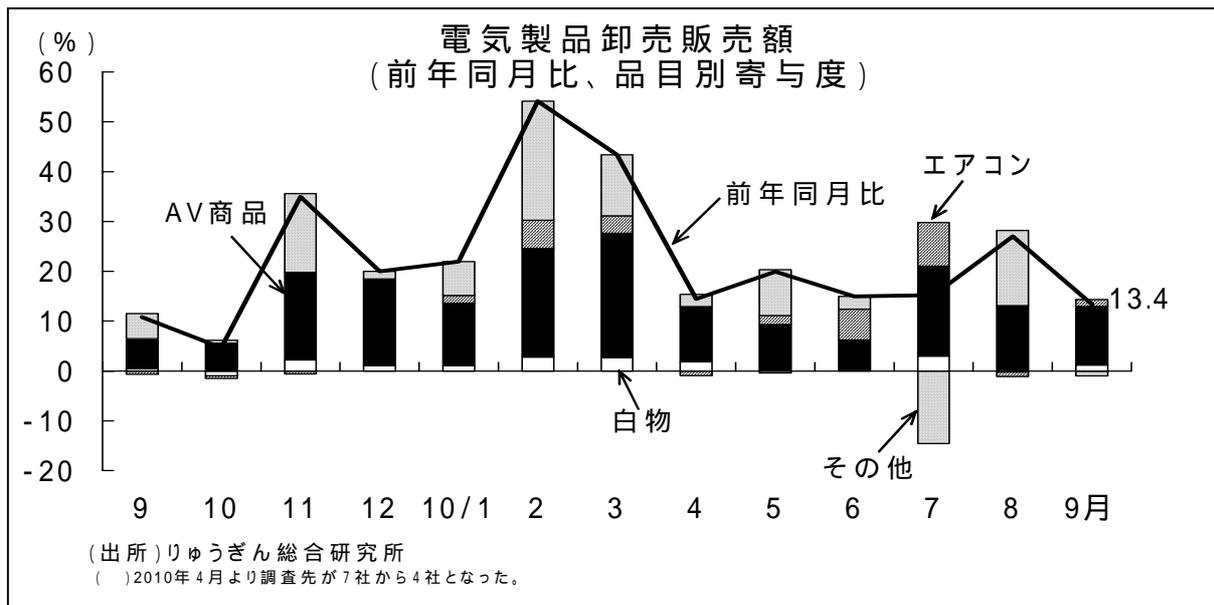
- ・ 新車販売台数は3,388台となり、引き続きエコカー減税・補助金制度の効果などにより前年同月比4.1%増と14カ月連続で前年を上回った。しかし補助金制度が9月上旬で打ち切られたことなどにより増加幅は縮小している。
- ・ 普通自動車(登録車)は1,201台(同14.2%減)で、うち普通乗用車は406台(同2.9%減)、小型乗用車は620台(同23.7%減)であった。軽自動車(届出車)は2,187台(同17.9%増)で、うち軽乗用車は1,852台(同15.8%増)であった。

(4) 中古自動車販売台数(登録ベース)：4カ月連続で増加



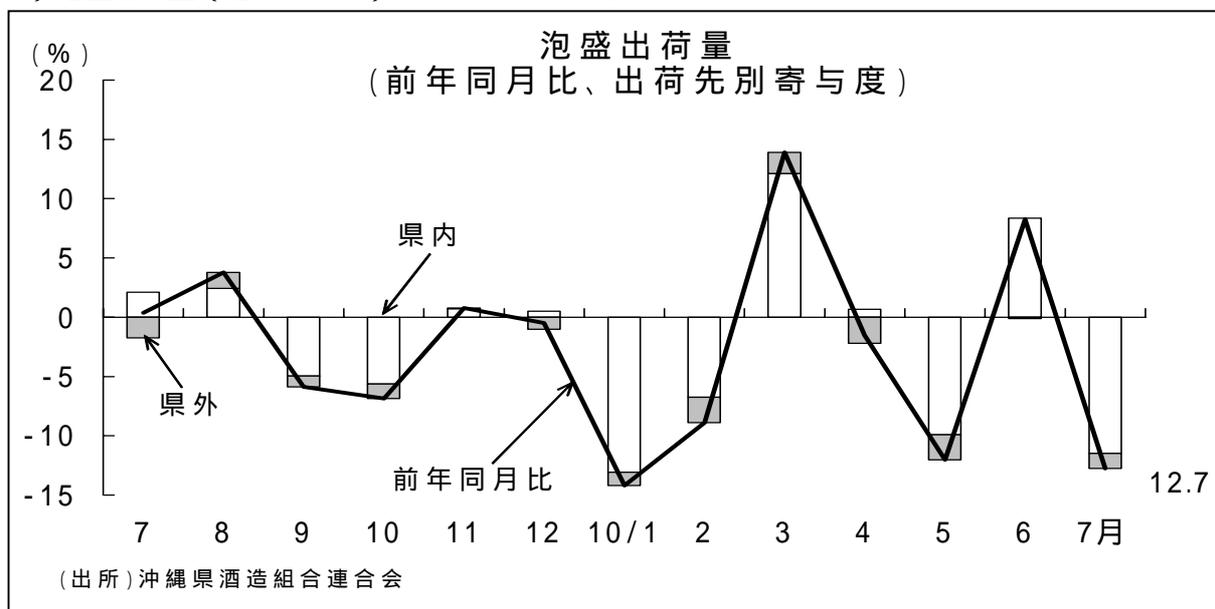
- ・ 中古自動車販売台数(普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース)は、前年同月比10.7%増となり4カ月連続で前年を上回った。
- ・ 内訳では、普通自動車は同7.8%増、軽自動車は同13.1%増となった。

(5) 電気製品卸売販売額：15カ月連続で増加



- ・ 電気製品卸売販売額は、引き続きエコポイント効果がみられたことなどから前年同月比 13.4%増と15カ月連続で前年を上回った。
- ・ 品目別にみると、AV商品ではテレビが同 41.9%増、DVDレコーダーが同 74.1%増、白物では洗濯機が同 20.1%増、冷蔵庫が同 2.3%減、エアコンが同 27.4%減、その他は同 1.8%減となった。

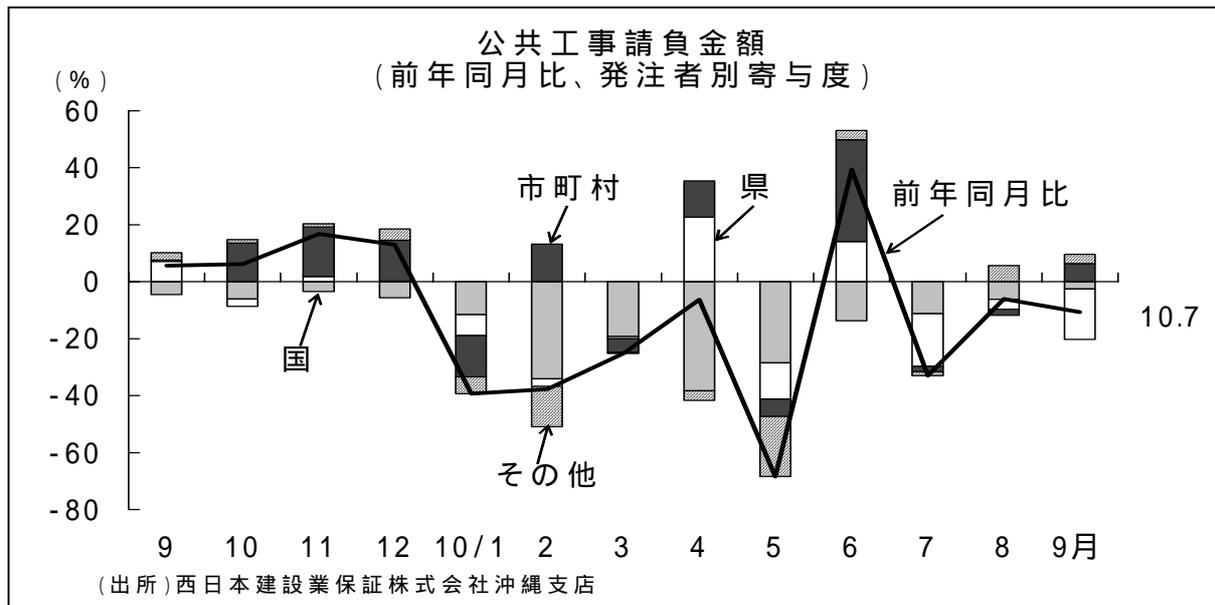
(6) 泡盛出荷量 (速報ベース)：2カ月ぶりに減少



- ・ 泡盛出荷量 (7月) は、前年同月比 12.7%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 県内出荷量は同 13.8%減となり、県外出荷量は同 7.6%減となった。

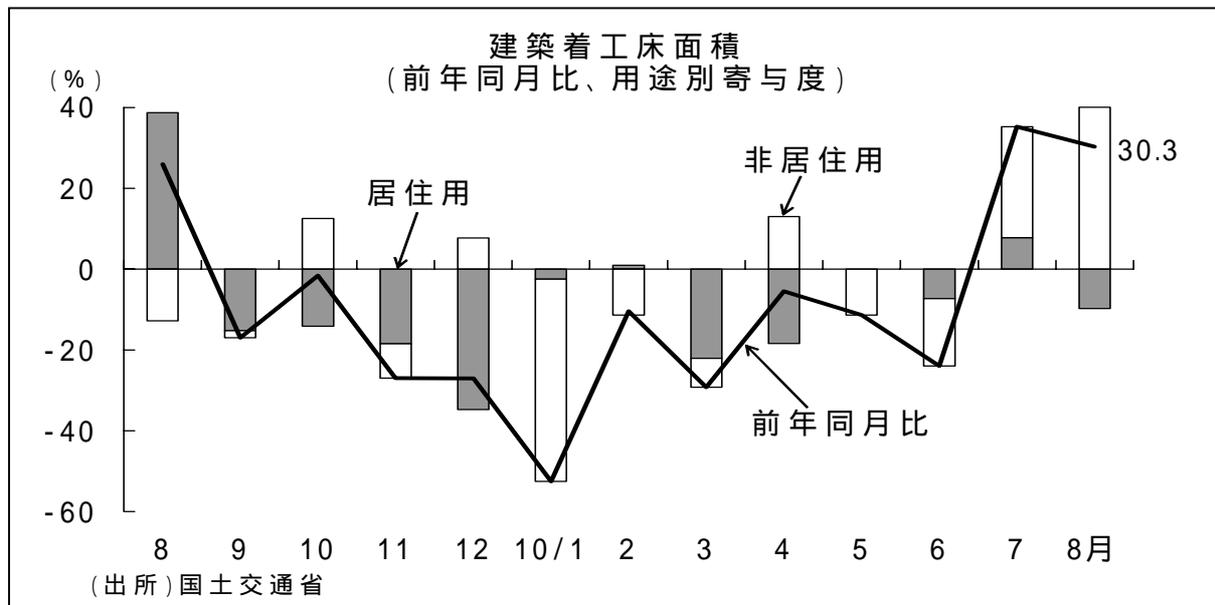
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：3カ月連続で減少



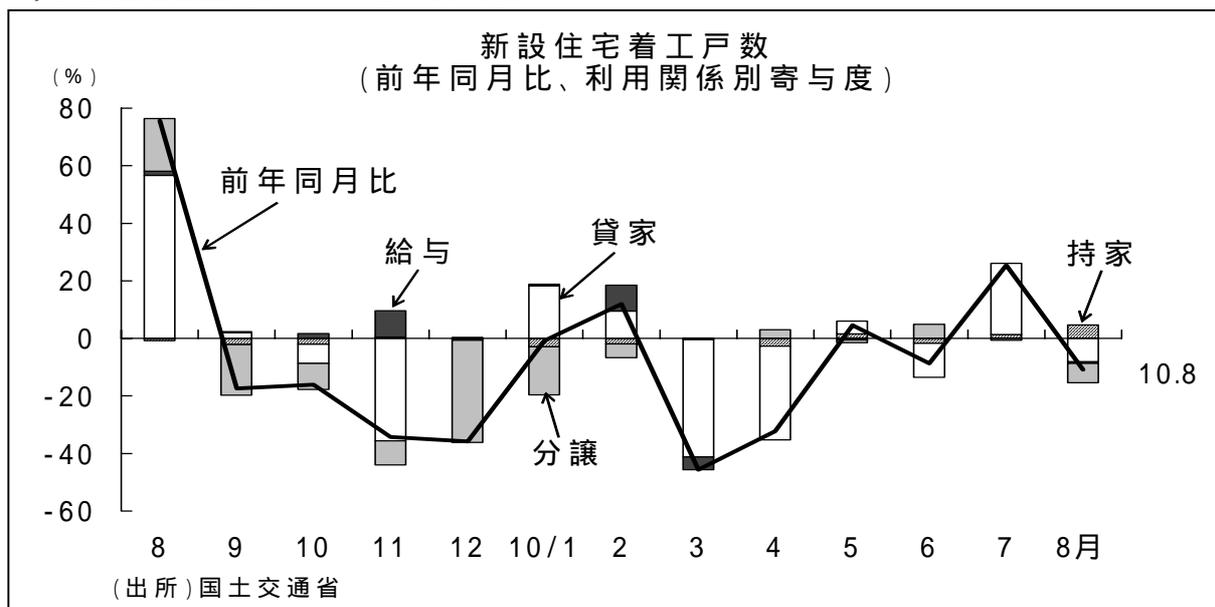
- 公共工事請負金額は、312億8,300万円で前年同月比10.7%減となり、前年に政府が実施した前倒し発注等の景気対策効果の反動などから3カ月連続で前年を下回った。
- 発注者別では、市町村(同28.3%増)、独立行政法人等・その他(同46.7%増)が増加し、国(同19.4%減)、県(同30.9%減)が減少した。
- 大型工事としては、沖縄科学技術大学院大学研究棟建築工事、宜野湾浄化センター第3系処理水再利用棟築造工事(1工区)、伊江村特産品(さとうきび)加工施設機械器具設置工事などがあった。

(2) 建築着工床面積：2カ月連続で増加



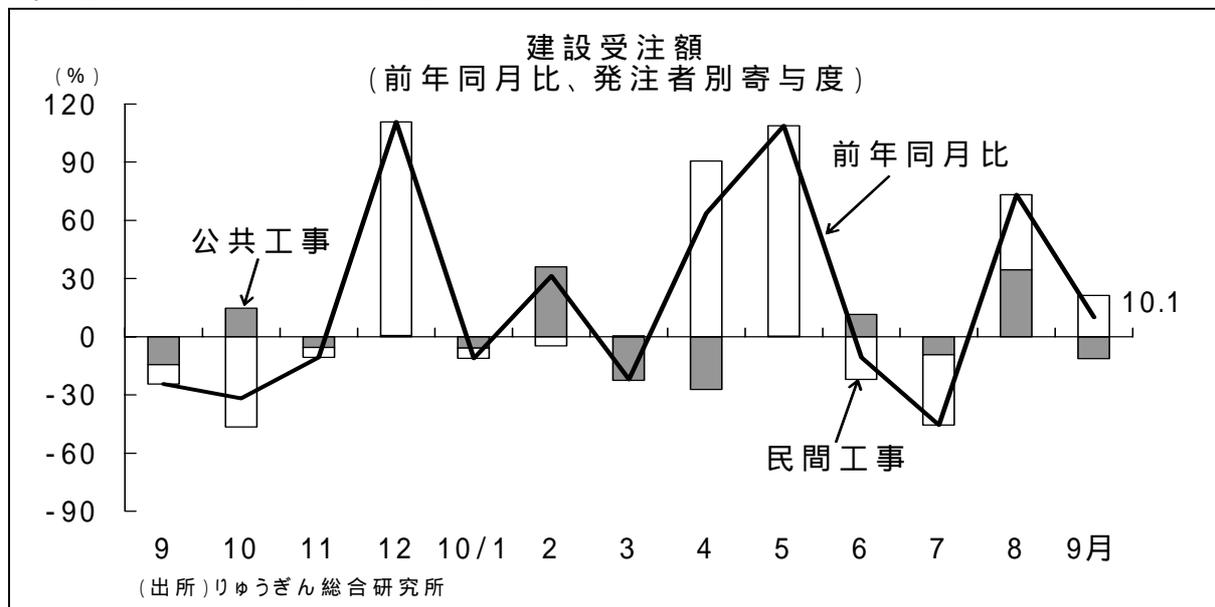
- 建築着工床面積(8月)は、18万1,040㎡で前年同月比30.3%増となり、居住用は減少したものの、非居住用が大幅に増加したことから、2カ月連続で前年を上回った。用途別では、居住用が同13.4%減となり、非居住用は同148.1%増となった。
- 建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では居住産業併用が増加し、居住専用が減少した。非居住用では、公務用、製造業用などが増加し、不動産業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：2カ月ぶりに減少



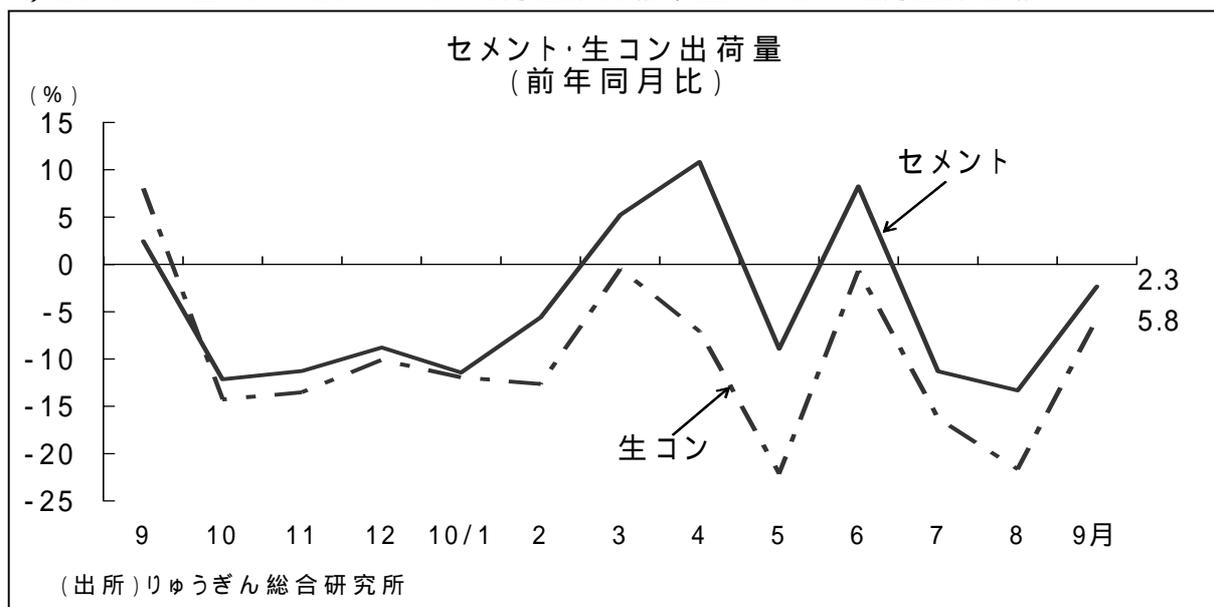
- ・ 新設住宅着工戸数（8月）は1,064戸となり、持家が増加したものの、貸家や分譲が減少したことから前年同月比10.8%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 利用関係別では、持家（同31.3%増）が増加し、貸家（同11.1%減）、分譲（同61.1%減）、給与（同80.0%減）が減少した。

(4) 建設受注額：2カ月連続で増加



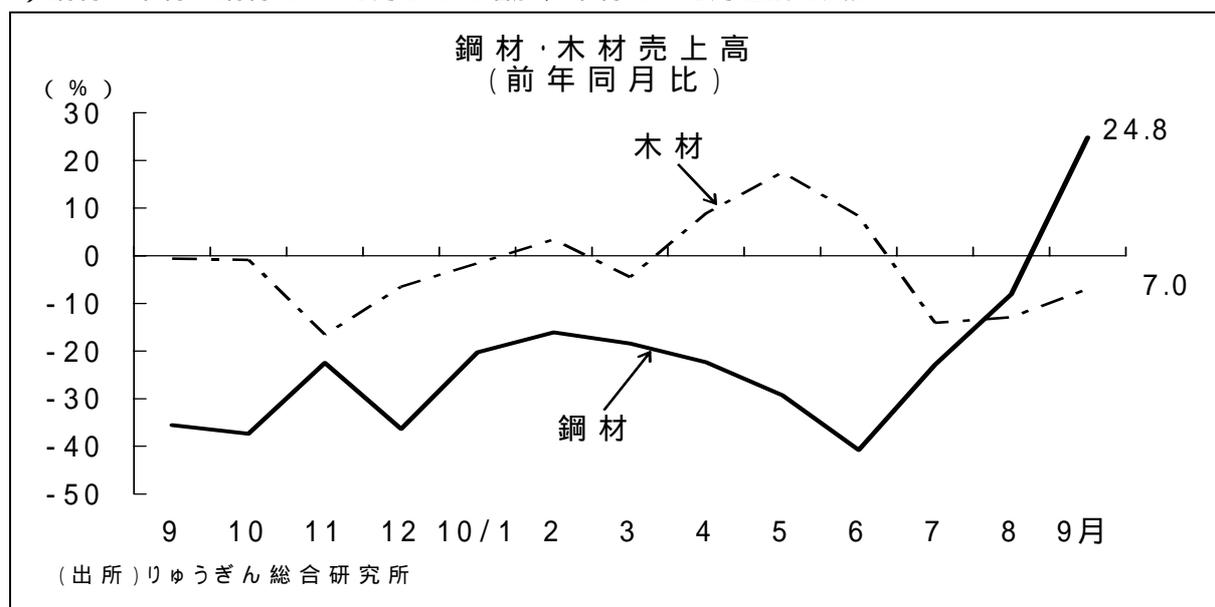
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：20社）は、公共工事が減少したものの、民間工事が貸家や福祉施設の建築工事などから増加し、前年同月比10.1%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 発注者別では、公共工事（同20.2%減）は2カ月ぶりに減少し、民間工事（同48.2%増）は2カ月連続で増加した。

(5) セメント・生コン：セメントは3カ月連続で減少、生コンは12カ月連続で減少



- ・ セメント出荷量は、6万430トンとなり前年同月比2.3%減と3カ月連続で前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量は、13万6,827立方メートルで同5.8%減と12カ月連続で前年を下回った。民間工事向け出荷は増加したものの、公共工事向け出荷は減少した。
- ・ 生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、一般土木向けなどが増加し、港湾や公営住宅向けなどが減少した。民間工事では、貸家、電力関連向けなどが増加し、分譲マンション向けなどが減少した。

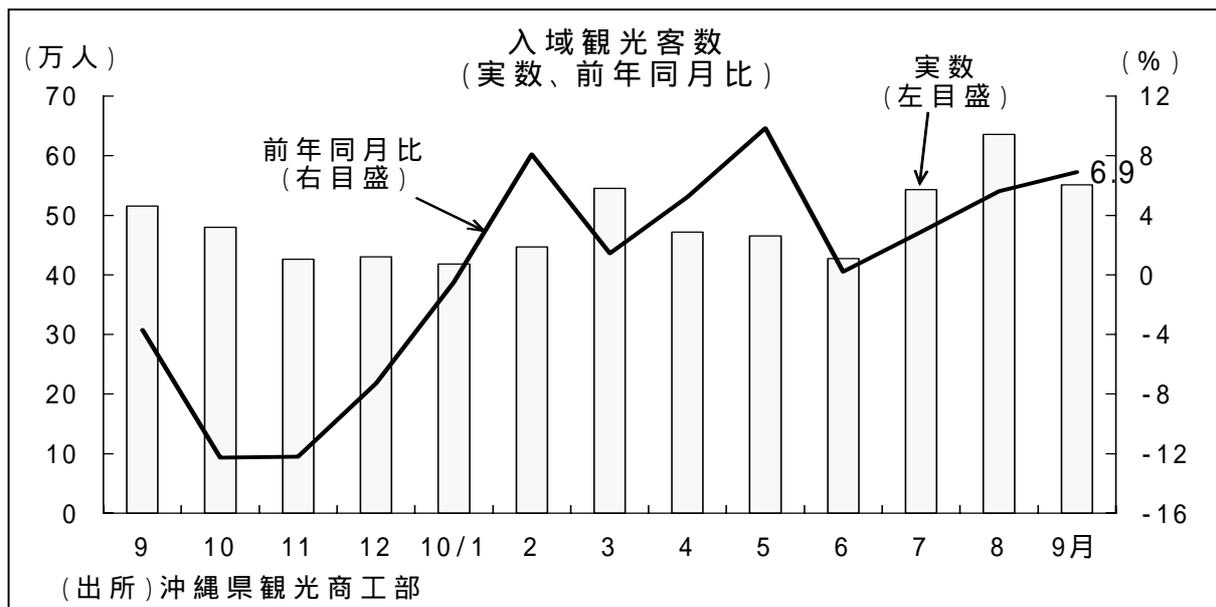
(6) 鋼材・木材：鋼材は20カ月ぶりに増加、木材は3カ月連続で減少



- ・ 鋼材売上高は、大口需要があったことや前年の水準が低かった反動などから、前年同月比24.8%増と20カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 木材売上高は、前年の大型物件向け出荷の反動が一部でみられたことなどから7.0%減と3カ月連続で前年を下回った。

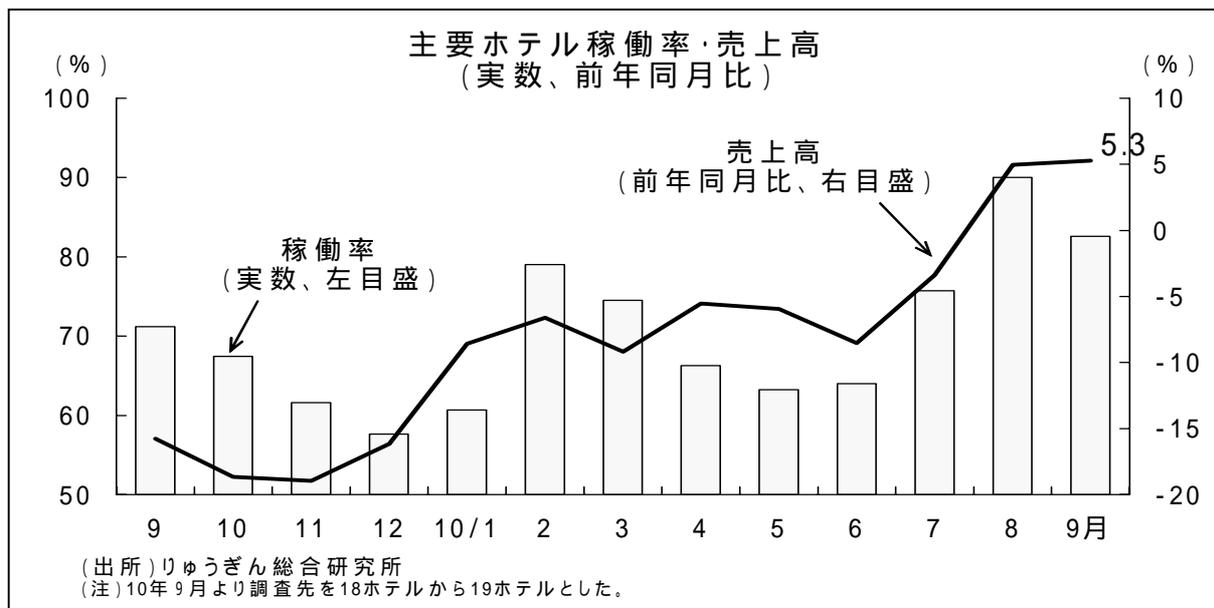
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：8カ月連続で増加



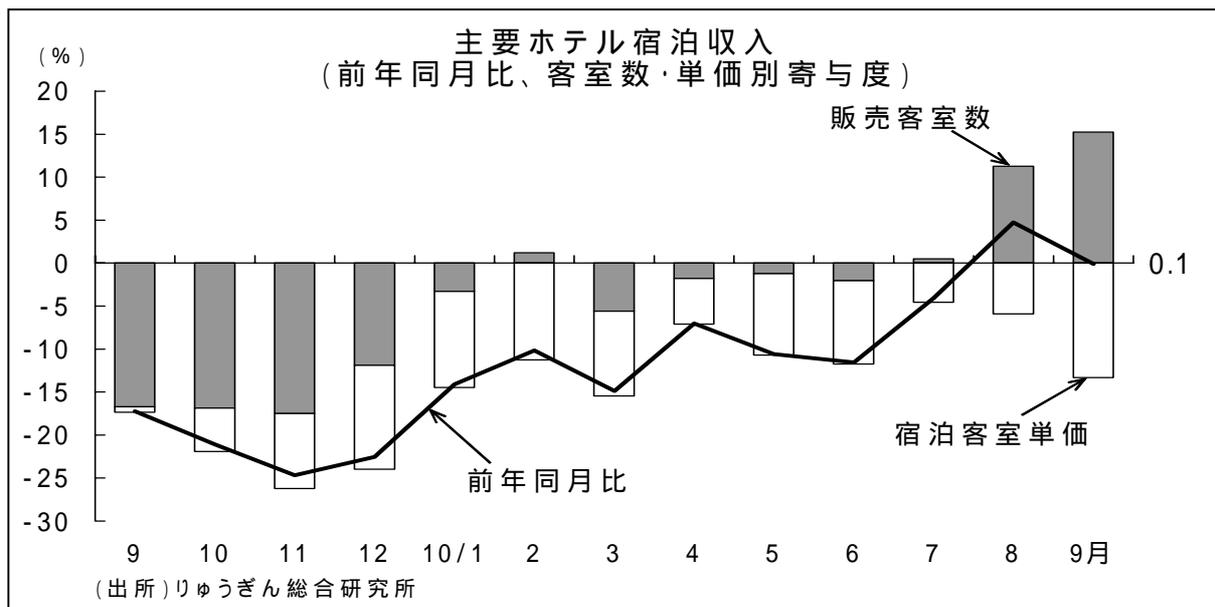
- 入域観光客数は55万800人で、前年同月比6.9%増(35,600人増)となり、8カ月連続で前年を上回った。外国客、国内客がともに増加し、9月としては過去最高の記録となった。
- 国内客(同5.3%増)は、8カ月連続で前年を上回った。外国客(同34.0%増)は、海路、空路がともに増加し、前年を上回った。
- 10月1日～20日の本土発沖縄向け航空旅客輸送実績(スカイマークエアラインを除く)は前年同月比3.9%増となり、3カ月連続で前年を上回った。

(2) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は3カ月連続で上昇、売上高は2カ月連続で増加



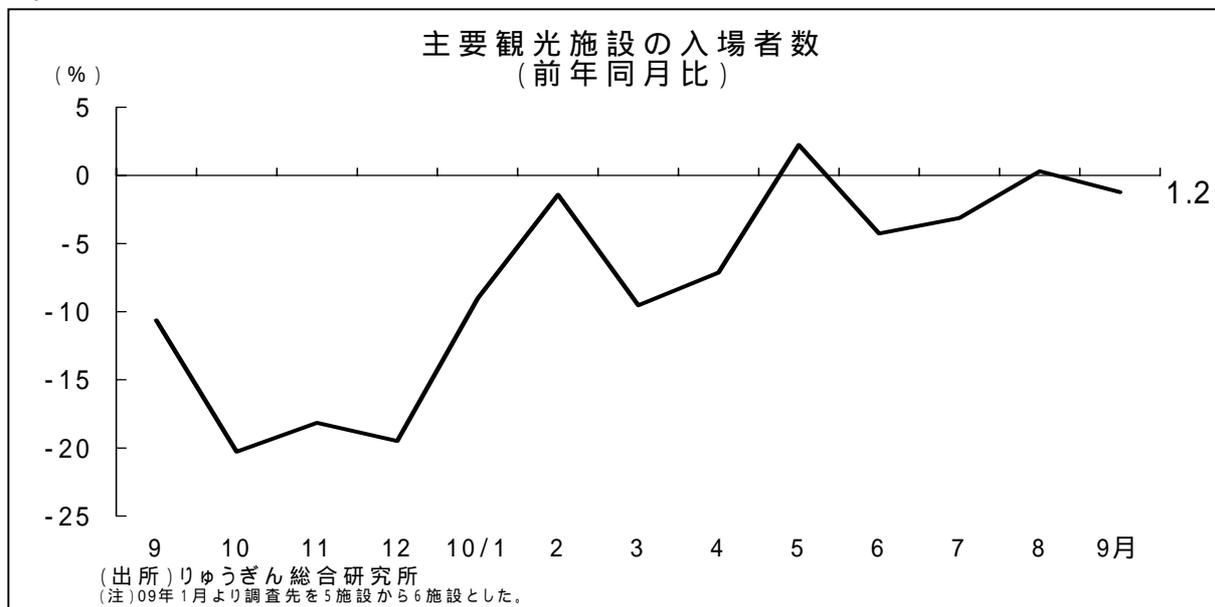
- 主要ホテルは、稼働率は82.6%と前年同月比11.4ポイント上昇し、3カ月連続で前年を上回った。売上高は、同5.3%増加し2カ月連続で前年を上回った。
- 那覇市内ホテルの客室稼働率は、75.2%と同6.9ポイント上昇した。売上高は同3.3%増となった。リゾート型ホテルの客室稼働率は、84.9%で同13.6ポイント上昇した。売上高は同6.1%増となった。

(3) 主要ホテル宿泊収入：2 カ月ぶりに減少



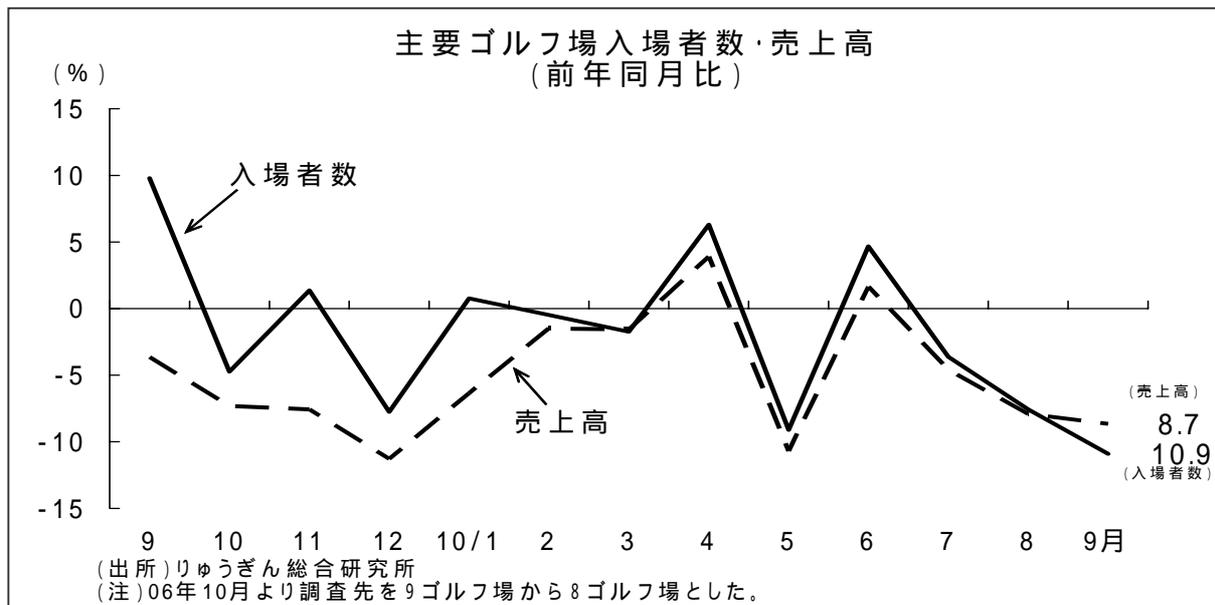
- 主要ホテル売上高のうち宿泊収入についてみると、販売客室数（数量要因）は増加したものの、宿泊客室単価（価格要因）が引き続き減少したことから、前年同月比 0.1%増と、2 カ月ぶりに前年を下回った。

(4) 主要観光施設の入場者数：2 カ月ぶりに減少



- 主要観光施設の入場者数は、前年同月比 1.2%減となり、2 カ月ぶりに前年を下回った。

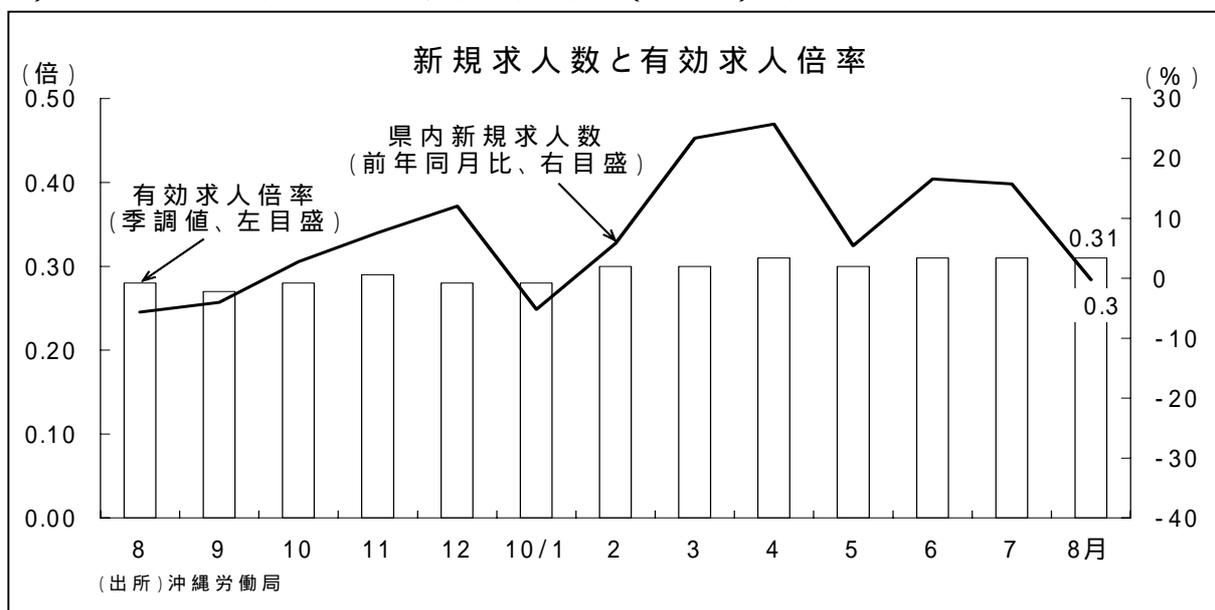
(5) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数、売上高とも3カ月連続で減少



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数は、県外客は増加したものの、県内客が減少し、前年同月比 10.9%減と3カ月連続で前年を下回った。売上高も同 8.7%減となり3カ月連続で前年を下回った。

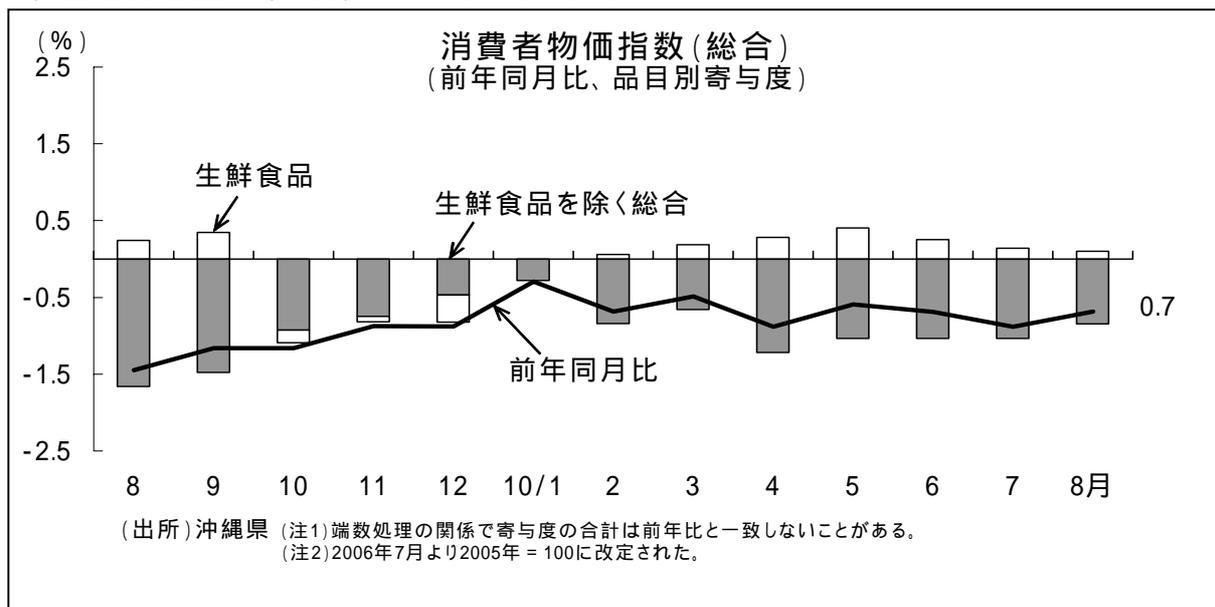
4. その他

(1) 雇用関連：新規求人数は減少、有効求人倍率(季調値)は同数



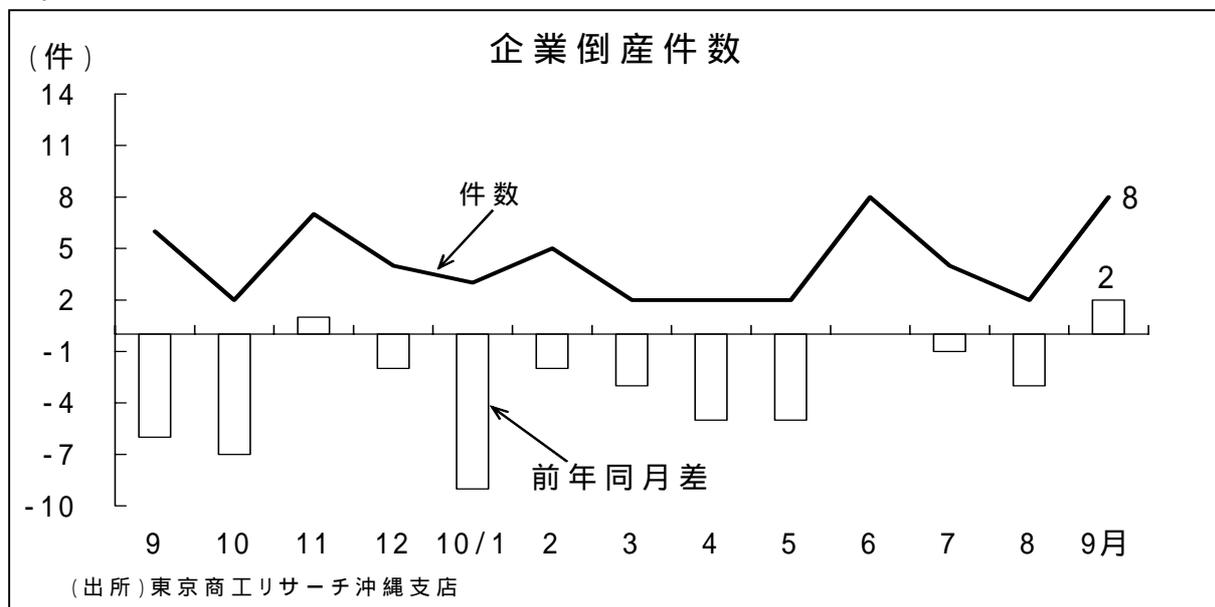
- ・ 新規求人数(8月)は、前年同月比 0.3%減となり7カ月ぶりに減少した。産業別にみると、情報通信業、不動産、物品賃貸業、サービス業などで増加し、運輸・郵便業、複合サービス事業、教育、学習支援業、建設業などで減少した。有効求人倍率(季調値)は0.31倍となり、前月と同数となった。
- ・ 労働力人口(8月)は、67万6,000人で前年同月1.0%減となり、就業者数は、62万3,000人で同1.4%減となった。完全失業者数は、5万3,000人で同3.9%増となった。完全失業率(季調値)は7.7%と前月より1.4ポイント悪化した。

(2) 消費者物価指数(総合): 16カ月連続で下落



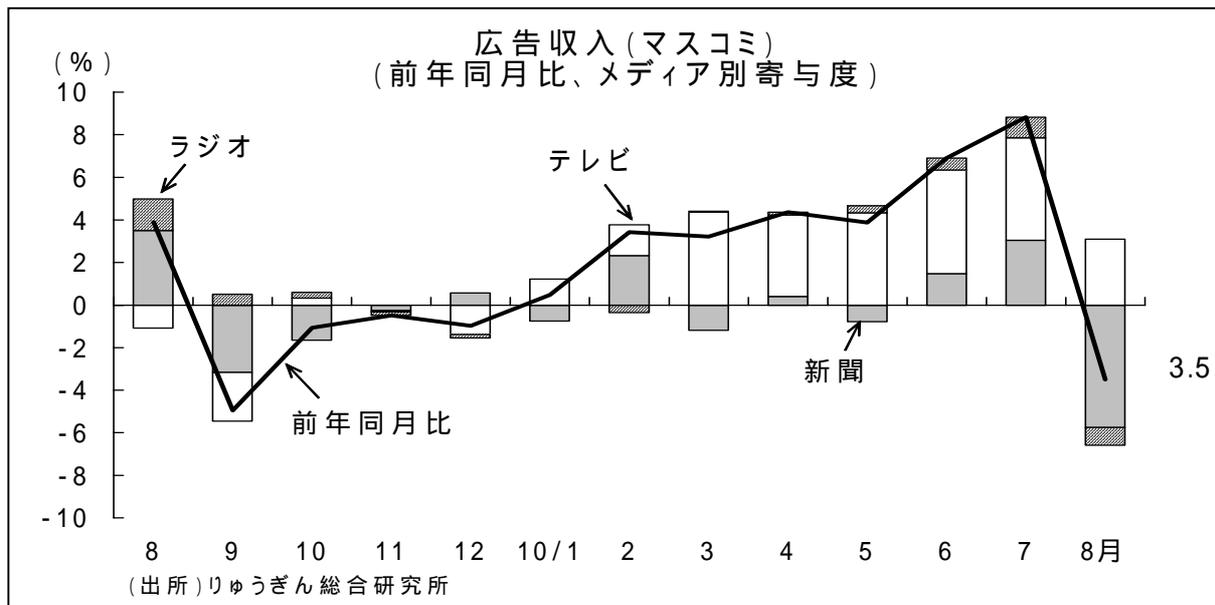
- ・ 消費者物価指数(8月)は、前年同月比0.7%減と16カ月連続で前年を下回った。生鮮食品を除く総合も、同0.9%減と下落した。
- ・ 品目別の動きをみると、住居、光熱・水道、交通・通信などが上昇し、教育、交通・通信、教養娯楽などが下落した。

(3) 企業倒産: 件数、負債総額ともに増加



- ・ 倒産件数は8件となり前年同月を2件上回った。業種別では、建設業3件(前年と同数)、卸売業1件(前年同月比1件増)、製造業2件(同1件増)、サービス業他1件(同数)、不動産業1件(同1件増)であった。
- ・ 負債総額は50億4,200万円となり、前年同月比562.5%の増加となった。

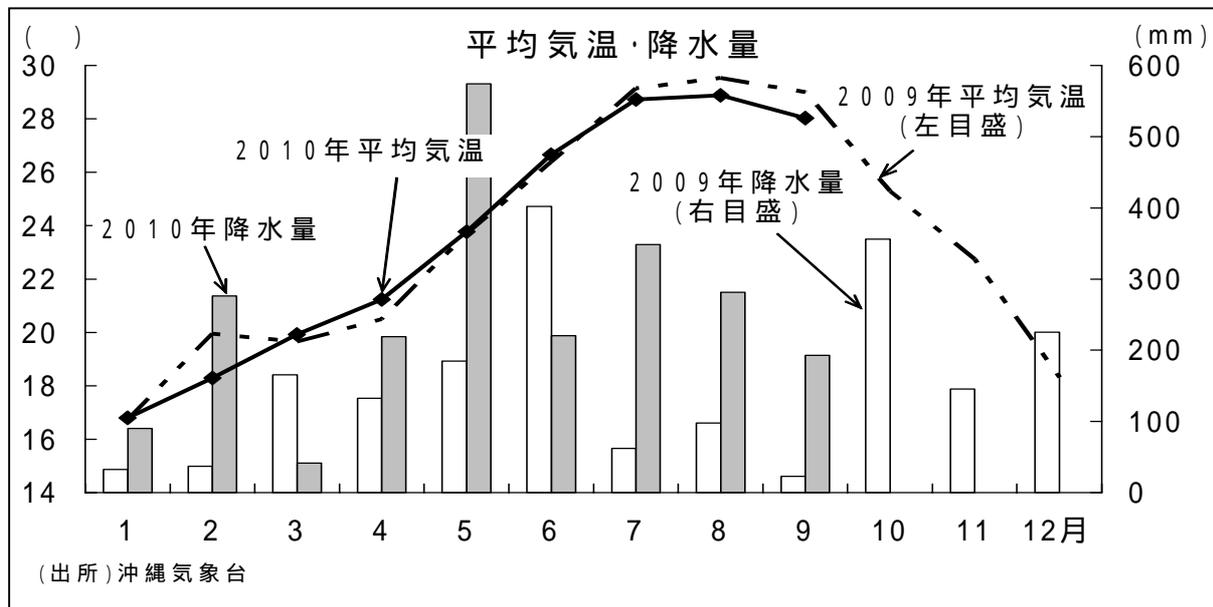
(4) 広告収入(マスコミ): 8カ月ぶりに減少



- ・ 広告収入(マスコミ: 8月)は、前年の衆議院選挙の反動減などから、前年同月比3.5%減となり、8カ月ぶりに前年を下回った。テレビは前年を上回ったが、新聞、ラジオが前年を上回った。

(参考)

気象: 平均気温・降水量(那覇)



- ・ 平均気温は28.0 と前年同月(29.0)より低く、平年(27.2)より高かった。降水量は293.0mm と前年同月(23.0mm)より多かった。

沖縄県内の主要経済指標.....	16
" 金融統計.....	18

沖縄県内の主要経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	電気製品 卸売額	新車販売 台数	泡盛 出荷量	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2007	0.7	0.3	2.4	0.7	3.8	3.1	263,842	9.0	1,847.5	22.5
2008	2.1	0.1	2.7	4.5	1.1	4.0	254,597	3.5	1,950.6	5.6
2009	9.4	2.0	0.9	6.7	10.9	3.2	285,283	12.1	1,888.1	3.2
2009 8	6.4	4.2	1.2	15.3	5.7	3.8	22,106	0.5	138.9	26.0
9	8.6	4.2	7.2	10.8	6.2	5.9	35,018	5.7	151.4	17.0
10	15.9	0.5	2.5	4.7	6.8	6.9	31,380	6.2	146.9	1.6
11	9.3	4.9	3.6	34.9	11.5	0.8	16,383	16.8	161.9	27.0
12	8.1	0.7	0.2	20.0	12.5	0.5	22,234	13.0	173.9	27.0
2010 1	11.6	2.9	2.0	22.0	20.1	14.2	10,905	39.3	96.4	52.5
2	8.6	1.4	2.2	54.1	29.4	8.9	9,582	37.7	145.4	10.4
3	8.0	1.9	0.4	43.4	30.2	13.9	34,742	25.2	129.9	29.2
4	4.1	1.2	0.5	14.4	42.8	1.5	11,784	6.3	119.4	5.4
5	5.7	2.1	0.6	19.9	31.7	12.0	6,773	68.4	106.7	11.3
6	5.6	1.4	0.1	15.0	39.6	8.3	25,423	39.3	138.4	23.9
7	2.0	1.7	0.2	15.2	20.4	12.7	17,515	33.0	185.6	35.2
8	8.7	1.5	2.8	27.0	31.9	-	20,757	6.1	181.0	30.3
9	1.3	4.7	3.5	13.4	4.1	-	31,283	10.7	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	酒造連	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 電気製品卸売販売額は、2010年4月より調査先が7社から4社となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、泡盛出荷量は沖縄県酒造組合連合会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	入域観光客数		観光施設 入場者数
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	千人	前年比	前年比
2007	10,876	33.1	29.4	0.6	2.1	7.0	5.1	5,869.2	4.1	5.6
2008	12,300	13.1	12.1	7.0	6.1	16.4	11.3	6,045.5	3.0	3.1
2009	11,747	4.5	22.1	3.1	0.9	23.1	9.4	5,650.8	6.5	10.9
2009 8	1,193	75.7	16.2	7.4	14.0	19.7	1.3	601.9	4.0	8.1
9	961	17.4	24.3	2.4	8.0	35.5	0.6	515.2	3.7	10.6
10	1,021	16.0	31.8	12.2	14.3	37.4	0.9	479.9	12.3	20.3
11	909	34.3	10.6	11.3	13.5	22.5	16.6	426.3	12.2	18.1
12	1,129	35.7	110.7	8.8	10.1	36.4	6.6	430.2	7.3	19.5
2010 1	764	0.8	11.1	11.4	11.9	20.3	1.6	418.3	0.5	9.0
2	845	11.9	31.3	5.6	12.6	16.1	3.4	447.0	8.1	1.4
3	715	45.6	22.0	5.2	0.5	18.4	4.5	544.9	1.4	9.5
4	687	32.2	63.5	10.8	7.1	22.4	8.9	471.9	5.2	7.1
5	782	4.5	108.8	8.9	22.2	29.3	17.6	465.0	9.9	2.3
6	924	8.7	10.6	8.2	0.7	40.8	8.3	427.7	0.2	4.3
7	1,157	25.5	45.6	11.3	16.3	22.9	14.1	543.0	2.9	3.1
8	1,064	10.8	73.2	13.3	21.7	8.1	12.9	635.7	5.6	0.3
9	-	-	10.1	2.3	5.8	24.8	7.0	550.8	6.9	1.2
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ				沖縄県観光商工部 観光企画課		りゅうぎん 総合研究所	

注) 木材は、2008年1月より建材から名称を改めた(木質建材が主であることから)。

注) 観光施設入場者数は、2009年1月より調査先が5施設から6施設となった。

沖縄県内の主要経済指標(その2)

暦年	ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		ゴルフ場 入場者数	広告収入	鉱工業生産指数 (季調値)		電力使用量	
	市内	リゾート	市内	リゾート	前年比	前年比	2005年=100	前年比	百万Kwh	前年比
2007	77.7	80.2	1.1	2.7	1.8	2.0	97.7	0.1	3,385	2.1
2008	70.7	80.6	1.6	1.0	3.1	4.8	98.8	1.1	3,417	0.9
2009	66.2	70.9	8.6	14.5	1.7	5.0	-	-	3,392	0.7
2009 8	77.9	82.7	4.0	12.8	8.4	3.9	97.2	0.9	382	0.6
9	66.7	73.7	8.9	18.0	9.8	5.0	94.4	4.6	368	3.6
10	64.0	69.4	7.9	22.8	4.7	1.1	98.9	0.9	340	0.6
11	60.3	57.4	17.1	20.0	1.4	0.5	93.2	5.2	294	8.5
12	62.5	54.8	12.6	18.1	7.7	1.0	95.5	3.9	250	0.5
2010 1	62.4	59.7	12.9	6.1	0.8	0.5	99.2	7.6	239	0.0
2	80.9	77.9	8.9	5.1	0.5	3.4	96.0	19.2	225	0.7
3	75.5	73.9	8.1	9.8	1.7	3.2	106.9	15.1	218	0.4
4	62.2	68.6	7.6	4.7	6.3	4.4	101.0	1.4	248	3.7
5	61.1	64.5	1.5	7.6	9.1	3.9	85.1	8.3	248	4.4
6	63.0	64.6	1.0	12.3	4.7	6.9	90.0	24.5	281	1.3
7	67.1	80.7	4.2	5.1	3.6	8.8	97.1	4.1	330	1.6
8	85.9	92.4	3.6	5.2	7.6	3.5	-	-	370	3.1
9	75.2	87.4	3.3	6.1	10.9	-	-	-	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ						県企画部統計課		電気事業連合会	

注) ホテルは、2010年9月より調査先が18ホテルから19ホテルとなった。

注) ゴルフ場は、2006年10月より調査先が9ゴルフ場から8ゴルフ場となった。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。2009年2月より2005年 = 100に改定された。

暦年	企業倒 産件数	負債総額		消費者 物価指数	失業率 (季調値)	就業者数	有効求人 倍率 (季調値)	新規 求人数 (県内)	通関輸出	通関輸入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	百万円	百万円
2007	78	10,610	78.0	0.2	7.4	0.8	0.42	10.6	59,578	198,113
2008	98	72,601	584.3	2.2	7.4	1.4	0.38	15.7	81,011	263,656
2009	75	25,070	65.5	0.5	7.5	2.8	0.28	7.5	47,752	182,334
2009 8	5	2,922	58.0	1.4	7.3	2.9	0.28	5.7	3,743	13,459
9	6	761	74.9	1.2	7.5	2.0	0.27	4.0	5,540	20,388
10	2	1,382	49.6	1.2	7.1	2.2	0.28	2.7	6,785	18,470
11	7	2,293	495.6	0.9	7.8	1.3	0.29	7.6	2,152	14,658
12	4	842	26.8	0.9	7.3	0.0	0.28	12.1	6,791	15,801
2010 1	3	495	94.3	0.3	7.4	1.0	0.28	5.2	3,492	18,765
2	5	1,310	125.5	0.7	8.1	0.8	0.30	5.9	5,907	14,099
3	2	325	7.1	0.5	7.9	1.7	0.30	23.4	5,012	20,408
4	2	276	77.4	0.9	8.2	1.0	0.31	25.7	8,081	23,655
5	2	95	95.2	0.6	7.5	0.8	0.30	5.4	2,282	7,784
6	8	922	73.9	0.7	6.3	1.4	0.31	16.6	1,048	6,887
7	4	549	4.4	0.9	6.3	0.3	0.31	15.8	12,722	26,468
8	2	63	97.8	0.7	7.7	1.4	0.31	0.3	17,470	21,137
9	8	5,042	562.5	-	-	-	-	-	1,191	16,560
出所	東京商工リサーチ沖縄支店		県企画部統計課			沖縄労働局		沖縄地区税関		

注) 消費者物価指数は、2006年7月より2005年 = 100に改定された。

注) 失業率は、2010年5月より原数値から季節調整値に変更し、遡って掲載した。

沖縄県内の金融統計

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (還収 超)	貸出金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡 発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2007FY	3,290	4,945	1,393	2.560	408	5.7	6,474	15.4	1,652	0.255
2008FY	3,246	4,610	1,349	2.519	357	12.5	5,416	16.3	2,200	0.406
2009FY	3,124	4,330	1,203	2.435	325	8.8	4,889	9.7	1,206	0.247
2009 8	241	334	93	2.457	28	2.9	398	0.0	22	0.054
9	224	404	180	2.445	26	18.2	402	22.6	44	0.109
10	237	351	113	2.450	25	17.0	362	23.7	29	0.080
11	220	323	102	2.449	28	13.5	409	22.9	196	0.479
12	568	220	347	2.435	27	13.9	385	12.9	17	0.044
2010 1	125	584	458	2.435	24	8.0	368	1.7	88	0.238
2	263	307	43	2.426	24	8.7	359	4.7	206	0.574
3	257	409	152	2.409	31	4.1	502	6.1	120	0.240
4	341	232	109	2.419	26	7.1	449	4.5	46	0.103
5	140	466	326	2.429	26	3.2	400	15.5	51	0.126
6	297	294	3	2.419	27	13.8	392	15.1	24	0.062
7	239	311	71	2.421	24	16.5	323	24.2	14	0.044
8	297	427	130	2.418	29	5.5	469	17.7	26	0.056
9	-	-	-	-	25	4.6	399	0.8	33	0.082
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額) ÷ 手形交換高(金額) × 100

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む未残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む未残)		県内金融機関 の預貯金残高 (郵便貯金は含まない)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (未残)		沖縄県信用保証協 会債務残高	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2007FY	32,249	2.0	26,593	5.9	46,312	0.8	11,671	5.8	1,219	4.3
2008FY	32,831	1.8	27,035	1.7	47,297	2.1	11,156	4.4	1,792	47.0
2009FY	35,626	8.5	27,551	1.9	49,543	4.7	10,677	4.3	2,204	23.0
2009 8	34,052	6.1	26,566	3.1	48,497	4.0	10,774	3.8	2,014	69.8
9	34,769	8.1	27,191	4.1	47,241	1.5	10,698	5.1	2,072	71.0
10	33,993	8.0	26,649	2.9	47,722	4.8	10,690	4.5	2,091	71.2
11	34,338	7.2	26,698	2.9	48,194	4.4	10,637	4.6	2,103	69.8
12	34,384	7.1	26,873	2.7	48,308	4.9	10,601	5.0	2,139	63.4
2010 1	34,139	7.4	26,800	2.7	47,807	4.9	10,532	5.4	2,153	48.8
2	34,562	8.2	26,940	2.8	48,114	4.8	10,516	5.0	2,161	35.4
3	35,626	8.5	27,551	1.9	49,543	4.7	10,677	4.3	2,204	23.0
4	35,577	6.7	26,721	1.7	49,825	4.3	10,598	5.0	2,167	17.8
5	35,850	6.5	26,492	0.2	49,940	4.4	10,531	5.1	2,123	14.3
6	36,701	5.7	26,586	0.7	51,413	3.6	10,425	3.9	2,105	10.7
7	36,249	6.3	26,423	0.2	50,803	4.1	10,409	3.7	2,099	6.7
8	36,391	6.9	26,496	0.3	50,509	4.2	10,366	3.8	2,115	5.0
9	36,975	6.3	26,951	0.9	-	-	10,272	4.0	2,114	2.0
出所	琉球銀行		琉球銀行		日本銀行那覇支店		沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会	

注) Pは速報値。